

延べ 3278 人が楽しむ

ミニトークで
締めくくると スロータウン映画祭閉幕

豊橋「プラット」

「第21回とよはしまちなかスロータウン映画祭」(実行委員会主催)は26日、豊橋市西小田原町の「穂の国とよはし芸術劇場プラット」で全日程を終え閉幕した。新型コロナウイルス禍の制限緩和もあり、上映と関連イベントに延べ3278人が訪れた。最終日は「異動辞令は音楽隊！」などの上映と同作品のミニトークで締められた。

たオープニングトークと出演2作品の上映会で幕を開けた。4日からのメイン「スロータウンシネマ」は、前回より3本少ない15作品だったが1本あたりの入場者は約60人増えたという。運営面でも日曜は昼休憩時間を増やし、終了時間を前倒すなどして、中心街に滞在しやすいよう工夫した。

この日は「異動辞令は音楽隊！」の上映にちなみ、「とよはしフィルムコミッション」の鈴木恵子さんがロケ現場のこぼれ話を披露した。ロケは昨年8月。音楽隊の事務所とした桜丘高校の保健室では、ベッドなどを外して事務所に改装した。防音壁の材料とした卵の殻の手配など苦労話も「いい思い出」として紹介した。

実行委の佐々木順一郎会長は「地元ロケの作品で締められた。コロナ禍の行動制限も徐々に緩和され、映画ファンが待ち望んだ状況に近い形で開

けた。着実にコロナ禍以前に戻りつつある」と今後に期待した。

【加藤広宣】



映画祭の閉幕を飾ったミニトーク
「プラット」で(実行委提供)